

○賃銀形態

大阪砲兵工廠勞務管理概況

團體請負制ヲ原則トシテ、雜役、分析、検査、事務等當廠ニ於テ間接工ト稱スルモノ、全体ノ約二割ハ日給制デアル。多忙時而モ急速ナ註文ニ對シテハ請負制度ガ能率的下思ハレル。職工ハ時間單位デ一割程度ノ割増ヲツケテモ精勵シテ働クモノデハナイ。結局ハ收入ヲ多ク與ヘルコトガ効果的デアル、平時ニ比較シテ最近ノ兩三年ハ約五割ノ能率ヲ高メ、而モ殘業ヲヤツテキルカラ職工ノ收入ハ非常ニ増加シテキル。

○就業時間ト殘業

始業午前七時、十時ニ休憩十五分、正午ヨリ零時四十五分迄晝食、午後三時二十五分休憩、五時終業トナツテキルノデ實労働時間ハ八時四十五分デアル。昭和七年ヨリノ多忙時カラ今日マデ二時間乃至四時間ノ殘業ヲ行ツテキル、特別ナ個所ニ於テ二交替制ヲトツテキルガ之ハ公表デキナイ。

○職工數ト賃銀額

現在男工約七千五百人、女工約三百五十人デアル。男工ノ月收平均約八十円デアルガ、臨時工四千人及間接工千五百人ヲ別トスレバ普通工ノ平均ハ百五十円ヲ超ヘル。女工ノ平均ハ約三十八円デアル。

○臨時工ト普通工

當廠ニテハ職工ノ採用ハ高等小學卒業生ヲ試験シテ養成學校ニ入學セシメ、二ケ年ノ後普通工トスル。

昨今ハ三十名ノ募集ニ對シテ八百人ノ志願者ガアルノデ非常ニ困難ナ試験デアル、二ケ年ノ養成中ハ日給五十錢ヲ給シ、ソノ後一年乃至二年ハ一円乃至一円二十錢ヲ支給シテキル、併シ今日ノ如ク多忙時ニハ、一円二十錢ノ日給者ガ請負割増、殘業等デ一ヶ月七十五円ノ收入ヲ舉ゲル状態デアル。

臨時工ハ期限附普通工ト稱スルモノデ、二十一日間試用ノ後、